

船舶事故等調査報告書

平成26年9月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014神第51号
事故等種類	転覆
発生日時	平成26年5月4日（日、祝日） 09時30分ごろ
発生場所	兵庫県南あわじ市弁天島北方沖 南あわじ市所在の丸山港西防波堤南灯台から真方位344° 1,000m付近 （概位 北緯34°18.0′ 東経134°39.3′）
事故等調査の経過	平成26年5月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	ミニボート（船名なし）、総トン数なし（船体重量55kg） なし、個人所有
乗組員等に関する情報	操縦者、操縦免許なし 同乗者
死傷者等	なし
損傷	機関が濡損
事故等の経過	<p>本船は、操縦者及び同乗者1人が乗船し、弁天島北方沖において、船首からアンカーを投入し、釣りを開始した。</p> <p>本船は、操縦者が船尾側で左舷方を向き、同乗者が船首側で前方を向き、それぞれ釣りを行っていたところ、同乗者が、その場で立って小用を足し、漁船が本船右舷側約20mを通過して航走波が押し寄せ中、バケツの中の尿を海に捨てようとして右舷側に体重を掛けた時、バランスを大きく崩し、船体が右舷側に大きく傾き、海水が入り、平成26年5月4日09時30分ごろ、操縦者及び同乗者は船外に投げ出され、転覆した。</p> <p>操縦者及び同乗者は、近くにいた漁船によって救助され、本船は、南あわじ市丸山漁港へえい航された。</p>
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏
その他の事項	<p>本船は、小型船舶操縦士免許及び船舶検査を要しない船舶であり、全長2.8m、幅1.39m、定員は2名であった。</p> <p>操縦者は、ミニボートの操縦経験が5回目であり、本事故海域での航行回数が4回目であった。</p> <p>操縦者及び同乗者は、救命胴衣を着用していた。</p> <p>本船の乾舷は、約40cmであった。</p>

<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし なし</p> <p>本船は、弁天島北方沖で錨泊して釣り中、同乗者が、立ち上がって小用を足し、漁船の航走波が押し寄せる中、バケツの中の尿を捨てようとして右舷側に体重を掛けた際、体勢を崩したことから、右舷側に傾斜して海水が流入し、転覆したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、弁天島北方沖で錨泊して釣り中、同乗者が立ち上がって小用を足し、漁船の航走波が押し寄せる中、バケツの中の尿を捨てようとして右舷側に体重を掛けた際、体勢を崩したため、右舷側に傾斜して海水が流入し、転覆したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船内を移動する場合は、姿勢を低くし、船縁をつかみながら、ボートの中心線上を移動すること。 ・ 航走波等を受ければ、ボートが不安定になるので、航走波等がある場合は移動しないこと。